

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2 月 20 日

事業所名 放課後等デイサービスこみつと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	各人に適した学習スペースと活動スペースを検討している。	学習場所と遊ぶ場所を区分けしている。完全個室がないため、クールダウンや個別指導の場所が確保しにくいいため移動式パーテーションを活用している。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	加配職員と更にプラスした職員を配置している。	色々な専門性を持った職員の確保に努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	段差のない一階を賃貸している。	玄関、トイレの入り口が車いすの大きさによっては入れないため改善したいが賃貸のため改造は不可である。車いす利用者が発生した場合は検討していく必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	常勤職員含めて書類や口頭伝達等に対応している。	非常勤職員は、常勤職員に比べて話し合いのタイミングが合わないところがあるので、書類等で確認してもらっている。更に意見の聞き取りが上がるようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	毎月、書面での評価等を活用して可能な範囲で改善をしている。	ご意見等については、すぐに対応しているが今より良い事業所にしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	ホームページで公表している。	ホームページで公表しているため今後も継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	今回の評価表を参考にしている。	評価費が25万以上するため今の情勢では簡単に実施できない。助成金等があれば検討をしていきたいと思っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	当社内外の研修を実施している。	資格取得のための費用を会社が負担するなどして参加を促している。今後も続けていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	毎月々利用者の状況を把握して会議時に達成度の評価をしている。	今後も継続していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	7	結果と支援が結び付きにくいので使用していない。	研修機関開催があれば積極的に参加して、内容を吟味して対応をしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	職員からの提案を尊重している。週末に翌週の天候等を見て決めている。	今後も引き続き職員からの情報や提案を参考にプログラムを立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	その日の状況に合わせて予定変更等調整している。	雨天時等により事業所内での活動時は、利用児童個々の希望状況に合わせて対応をしていきたいと思っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	時期に合わせて必要と思われる支援を職員間で検討し実施している。	毎日利用者と週数回利用者の混合になるため、課外レク時は引き続き重ならないように対応をしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	対象児が個別と集団のどちらが良いかで職員配置を決めている。	屋外活動を希望する児童、屋内活動を希望する児童にも対応できるようにしていますので今後も続けていきたいと思っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	利用者数、その日の活動内容等によって男女等の分担をしている。	下校時間のズレ等により予定通りに行かない時があるが、内容に固執せず臨機応変に対応できるようにしていきたい。パート職員には時間制約が発生するため後日でも確認できるようにしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	各職員が得た情報は個別記録等に記載している。	・情報共有のため翌日にも記録をとったり話をしたり出来る時間を確保しているので今後も続けていきたい。 ・一日の出来事を職員で話し合い、対応点を考え行動している。 ・翌日に打ち合わせなど行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	記録は未来の支援のために細かく記載している。	児童の成長過程の把握や課題についての検討機会に活用できる内容にしていきたいと思います。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	3か月に1回モニタリングをして保護者に報告している。	職員個々の情報を収集してサービス計画に反映するようにしています。個々の職員により能力差があるため今後も研修等に参加をして能力向上を目指したいと思います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	2	利用者に必要なものは組み込んでいる。	新入職員、在籍職員ともに、この職員評価表が該当していることを把握していない場合があるので内容に準じているかを勉強していきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児管営以外が適切な場合は、その者が対応している。	会議に直接処遇の職員が参加する場合は、勤務時間との兼ね合いを調整する必要があるため、調整が出来た場合は参加できるようにしていきたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	学校に協力してもらえるように努力している。	学校の先生の予定等があるため時間を取って話すのは相談支援専門員の調整してくれた会議が中心であるため、送迎時に先生と会う機会があれば情報共有できるようにしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	受け入れ実績がない。	看護職員を常勤させる必要があるため現状は受け入れできない。需要があれば検討をしていきたいと思っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	個人情報保護法の観点より入手困難なため保護者が持っている場合に提供していただいている。	園での様子は保護者からの情報が中心である。園での対応と、小学生になった児童との対応は違ってくるが、支援に必要な内容は得ていくようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	7	実績がない。	サービス管理責任者、相談支援専門員経験者がいるため必要時は対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	研修には参加するようにしている。会議や研修でもない限り助言を受けるようなことはない。	研修が実施される場合は参加をするようにしています。今後も研修受講の機会を大切にしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	地域内外での活動が多いようにして自然と交流できるようにしている。	コロナ感染のため積極的には交流ができない事情がありますが、課外レク等で他校の児童との交流は今後も続けていきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	7	開催情報がない。	情報があれば参加をしていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	7	0	毎月一回、互いに書面に で情報交換している。 メールや送迎時も活用し ている。	相談事があれば助言できる範囲で対応していますので続けていき たいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	7	専門家が在籍していないのでできていない。	ヘアレント・トレーニングの受講者は居ないが、家族からの相談に対しては助言をしている。受講機会があれば参加して活かしていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	見学、体験、利用開始時、契約時を利用して説明している。	重要事項説明書に詳細記載されているため、その内容を説明していく。運営規定は閲覧可能なように設置しているため必要に応じて閲覧を進めていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	内容によって専門職が対応している。	保育士、児童指導員、相談支援専門員等が在籍しているため引き続き必要時には対応していきたい。非常勤職員は時間帯によっては対応できないため常勤中心での対応をしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	保護者を集めての活動実績はない。	個別で対応するようにしているため、集団による保護者会の予定はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	内容によって差はあるが最短期間で対応する様になっている。	苦情内容によっては後日対応になるが引き続き当日対応を原則として対応していきたいと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	毎月、会報を作成し発行している。	利用日のデイサービスでの状況報告をしている。広報誌も毎月発行し、連絡体制もメールや電話で対応できるようにしている。今後も引き続き実施していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付きロッカー、パスワード管理をしている。	外部の方などが来所された時は、利用者の名前等が分からないようにしているので今後も継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	特性に合わせて対応している。	伝達方法を個々に合わせるようにしている。メール、口頭、文書などを利用して伝えるようにしているため、今後も継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	招待実績なし。	招くより、こちらから出かけるようにしている。開催日時や場所によっては参加できない場合やコロナ関連で政自体が無い。極力参加をしていくようにしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	左記に対してのマニュアルを作成している。	職員用には掲示するなどの対応をしているが保護者には特に伝えていない。時事的な話題でマニュアル内容を保護者と話すことが中心となっているため再度整備をしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	消防に計画報告書を提出して実施している。	直近までは消防に届け出をしていたが、消防から届け出対象外という事であったため、不定期実施も行いたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	必須研修と位置付けて研修を実施している。	虐待事案の内容が多岐にわたり境目が分かりにくいところがあるため、例を出すなりして分かりやすい研修にしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	7	実績なし。	実績はないが、手をつなぐことも拘束になると言われたため、保護者に説明をして了解を得るようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	利用開始前にアレルギーを保護者に確認している。	インテーク時に聞き取りをしている。嫌いなものは提供しないようにしている。引き続き色々なアレルギーがあるため、保護者には聞き取りをしていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	状況報告書を職員全員に回覧している。	事例集を作成していませんが、タイムリーに状況報告書を回覧し再発防止に努めていきたい。